

8月30日

テーマ：「岩の上の家」

聖書箇所：マタイの福音書7章24節～27節

◆今日のみことば

だから、わたしのこれらのことばを聞いてそれを行う者はみな、岩の上に自分の家を建てた賢い人に比べることができます。マタイの福音書7章24節

◆メッセージ

家を建てるところを見たことがありますか。家を建てる時には、まず、土台が大切です。砂を掘るのと、岩を掘るのと、どちらが楽だと思いますか。もちろん、砂！砂場で、いろいろ作って遊んだことがありますね。でも、砂で作ったものは、雨が降ると形が崩れてしまいます。砂で作った土台も同じです。簡単に土台になりますが、洪水になると形が崩れて、せっかく建てた家も壊れてしまいます。

イエスさまを信じている人は、①賢い人、②岩の上に自分の家を建てた人、とされています。

ルカの福音書の同じお話が出ている6章48節には、③地面を深く掘り下げて、岩の上に土台を据えた人、と出ています。イエスさまを信じると、①賢く知恵のある人になれるのです。みことばを聞いて、みことばを行う人のことです。聞くだけでなく、みことばのとおり生活すること。みことばは私たちを賢くします。知恵のある人にします。あわてないで落ち着いた人にします。正しい判断ができる人にします。すてきですね。②岩とは、イエスさまのことです。世界で一番しっかりした岩。大きな大きな岩。それがイエスさまです。ですからイエスさまを信じている人は、イエスさまという世界一のしっかりとした岩の上に立っているのです。安心ですね。③地面を深く掘っていくと誰でも必ず岩に届くことができます。ちょっとだけで怠けないで、地面を掘っていくと岩に届きます。誰でもどんな人でも。



岩であるイエスさまはここまでおいでと、私たちを支えるように、私たちの下で待っていてくださいます。うれしいですね。イエスさまを信じて、イエスさまを土台としている人は、雨が降っても、風が吹いても、嵐が来ても倒れません。悲しいことがあっても、さびしいことがあっても、つらいことがあっても、絶対に倒れません。イエスさまこそ、どんなことがあってもゆるがない世界一の岩である、まことの神さまだからです。



◆お祈り

「イエスさま、事故があっても、事件があっても、病気になっても負けないで、あなたが支えていてくださいますから、ありがとうございます。」

(長野めぐみ教会牧師 平島誠)